

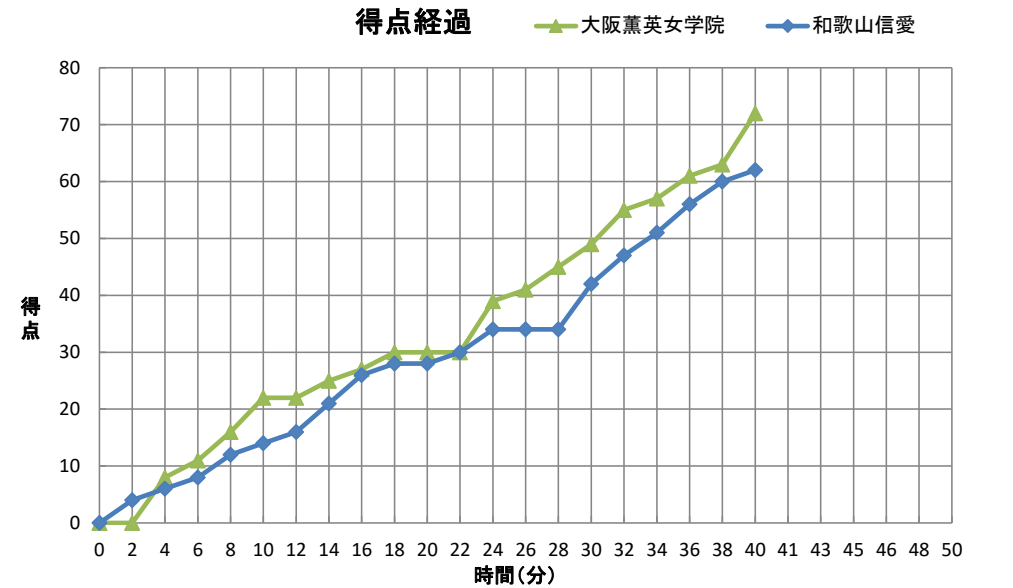


令和4年度
第33回近畿高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

女子		2月19日		9:30 開始													
準決勝		滋賀ダイハツアリーナ		A													
◎ 大阪薫英女学院 72		<table border="1"> <tr><td>22</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>8</td><td>2nd</td><td>14</td></tr> <tr><td>19</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>23</td><td>4th</td><td>20</td></tr> </table>		22	1st	14	8	2nd	14	19	3rd	14	23	4th	20	62 和歌山信愛	
22	1st	14															
8	2nd	14															
19	3rd	14															
23	4th	20															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	木本 桜子	6	0	2	2	4	* 4	早川 纏依	0	0	0	0	1				
* 5	島袋 桃	28	3	7	5	1	* 5	小川 莉々華	10	0	5	0	1				
* 6	木本 桃子	13	0	4	5	1	* 6	栗林 小晴	12	0	4	4	5				
* 7	村松 由梨	9	0	3	3	3	7	寺田 朱里	24	6	2	2	4				
8	松本 汐音	6	0	1	4	3	* 8	福嶋 唯衣	0	0	0	0	1				
9	松本 莉緒奈	0	0	0	0	0	* 9	山本 和叶	8	0	4	0	2				
10	川上 愛結	-	-	-	-	-	10	立岡 春咲	6	0	3	0	5				
* 11	下崎 好	2	0	1	0	1	11	蔭山 実玖	2	0	1	0	4				
12	吉田 華子	8	0	3	2	2	12	日浅 美羽	-	-	-	-	-				
13	高橋 心愛	-	-	-	-	-	13	岩倉 涼華	-	-	-	-	-				
14	福原 怜愛	0	0	0	0	0	14	橋本 真楓	-	-	-	-	-				
15	荒木 花愛	-	-	-	-	-	15	岩尾 歩夏	-	-	-	-	-				
16	兼田 紬奈	-	-	-	-	-	16	福平 悠愛	-	-	-	-	-				
17	小俣 亜矢	-	-	-	-	-	17	青砥 瑠璃	-	-	-	-	-				
18	西尾 咲希	-	-	-	-	-	18	森 ゆきの	-	-	-	-	-				
コーチ	安藤 香織					0	コーチ	官本 浩次					0				
Aコーチ	長渡 由子						Aコーチ	入口 鈴									
合計		72	3	21	21	15	合計		62	6	19	6	23				
主審: 那須 弘幸																	
副審: 太田 令菜																	
副審: 汐野 孝歩																	

得点経過



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:
TeamB	14:26	18:19	25:12	32:24	38:23	:

〔戦評〕
女子準決勝は第1シード大阪薫英女学院（大阪1位）と和歌山信愛（和歌山1位）の対戦となった。薫英女学院 #4 #5 #6 #7 #11、和歌山信愛 #4 #5 #6 #8 #9のスタートメンバーで試合開始。

第1Q、薫英はオールコートマンツーマン、信愛はハーフコートのマンツーマンでスタート。信愛 #6のジャンプシュートで先制。お互い激しいディフェンスで主導権の奪い合いを続ける。薫英のオフenseリバウンドからの攻撃が徐々に決まり出し、リードを広げる。信愛は #10のリバウンドシュートで反撃。22-14で薫英がリードして終了。

第2Q、信愛は #10のゴール下とパスカットからのレイアップ、#7の3Pで点差を詰める。薫英がディフェンスの強度を高めたところで信愛は前半1回目のタイムアウト。信愛は #5のジャンプシュートと #7の3Pで逆転するも、薫英がオフenseリバウンドとポストプレーでファウルを誘い、フリースローで得点を重ねて再びリードする。残り1分半、信愛が2回目のタイムアウト。信愛が堅実なディフェンスを続け、30-28、薫英リードで前半終了。

第3Q、信愛は #6の1対1で逆転するが、薫英は #12の1対1、#5のポストプレーで再びリードを奪い返す。薫英はオールコートプレスで信愛のミス誘い、信愛がたまたまタイムアウト。信愛は果敢に攻撃するが得点を奪えず、薫英 #5の連続得点により徐々に点差が広がる。終了間際、信愛 #7の3Pで点差を詰まり、薫英 49-42 信愛で終了。

第4Q、信愛 #7のバスケットカウントと3Pで2点差とするが、薫英が着実に得点を重ね、反撃を許さない。信愛が後半2回目のタイムアウトをとった後、#6 #7の連続得点により点差を4点とするが、薫英も高さのミスマッチを使い両者の激しい攻防が続く。残り1分半、薫英 #5の3Pが決まって得点が薫英 66-60 信愛となり、信愛は最後のタイムアウト。信愛 #9のジャンプシュートにより粘りをみせるが、ファウルによるボーナススローを薫英が確実に決め、72-62で薫英が勝利した。

お互いが好ディフェンスで見ごたえのある試合であった。